

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	地域課題やニーズに対応した活動の実施	自律的な地域活動にかかる支援 (1) 自主財源確保の取組支援	通年	自主財源確保のための活動の支援	<p>区民まつりや地域イベントへの模擬店の出店や行政からの委託事業を受託するための支援を行った。</p> <p>今年度はコミュニティ・ビジネス研修としてクラウドファンディングセミナーを開催し、10月にはその実践編で代表地域のプレゼンを行うなど、地域の自主財源確保策のひとつとして紹介する機会を設けている。</p> <p>また26年度より地域課題解決型事業として「広報みなと」の配布事業が地域活動協議会も受託対象業者となり、28年度においては8地活協が港区全て11地域の配布事業を受託し、29年度も同様に8地域活動協議会が委託事業予定者となっている。事業開始から3年が経過するが、この事業は地域にとって安定した自主財源となっている。まちづくりセンターでは、「地域課題解決型配布事業」の趣旨を各申請地活協主要担当者等へ説明し、個々の地域事情に応じた検討の機会を設け、配布業務の反省点や企画提案が現状の地域課題に即しているかなど地域と共に検証し、地域の声を反映したより適切な業務企画提案書の作成を支援している。併せて地域にとり大きな財源であることから、業務がつつがなく履行されるよう、区役所担当と情報を共有しながら業務運営の支援を続けている。</p> <p>南市岡地域では定期的に朝市を開催する事で、継続的な収益事業との考え方が地域にも根付き、地域課題解決にもつながる事業となるよう協議しながら支援を続けている。</p> <p>また平成27年度28年度と続けて大阪ガス助成事業申請のサポートを行い、大阪市ボランティア活動振興基金を活用した地域福祉や地域コミュニティ活動の場作りとなる助成金の申請をサポートした事から、それら助成事業が計画通りに実施されているか確認し、その運営や報告書等の作成支援をしている。</p>	<p>今年度区民まつりへの模擬店出店: 10地域</p> <p>行政からの委託事業: 地域課題解決型「広報みなと」配布業務委託(8地域受託)・港区広報板管理業務(1地域受託)</p> <p>助成申請地域: 市岡地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 八幡屋地域活動協議会 港晴地域活動協議会 三先地域活動協議会</p> <p>収益事業: ふれあい広場「朝市」 NPO法人南市岡地域活動協議会</p>
			通年	コミュニティビジネスを活用した自主財源確保の重要性の啓発及び具体的な取組の支援	<p>26年度より地域課題解決型事業として地域活動協議会も応募可能な「広報みなと」の配布事業も、28年度においては8地活協が港区全て11地域の配布事業を受託した。</p> <p>また29年度も同様に8地活協が、港区全て11地域の委託事業予定者として決定を受けている。</p> <p>この業務委託についてはコミュニティ・ビジネスのモデルケースと位置付けられ、他区からも港区に問い合わせが多くあり、まちづくりセンターが携って来た当事業の運営方法や収益事業となる税務面の対処等、港区役所担当課と連携してその説明にあたった。結果淀川区や東成区が同様の委託事業を公募し数地域の地域活動協議会が受託したが、港区のように11地域全てを地域活動協議会が事業者となり、地域活動の有効な財源として周知されていないようである。</p> <p>昨年11月の29年度同事業公募型プロポーザル募集開始に伴い、事業参加予定の8地域・地活協から企画提案書及び29年1月のプレゼンテーションに向けまちづくりセンターへ相談が寄せられた。</p> <p>当センターではこの配布事業が既に3年に渡り実施されている事から、再度「地域課題解決型配布事業」の趣旨を各申請地活協主要担当者等へ説明し、個々の地域事情に応じた検討の機会を設けた。配布業務の反省点や企画提案が現状の地域課題に即しているかなど地域と共に検証し、地域の声を反映したより適切な業務企画提案書の作成を支援している。</p> <p>また28年度8地活協受託に伴い、これら業務に付随する全戸配布の実績報告の作成、地域課題解決の取組み(高齢者や子どもの見守り、地域情報の発信、まちの問題の把握など)等について、港区との契約が履行されるよう支援を行っている。</p> <p>配布クレームについても、区役所担当課と連携して適切に対処している(担当地活協への指導等)</p> <p>地域防犯や高齢者及び子どもの見守り等地域課題の一端を、広報紙を配布しながら解決する手法で自主財源確保にもつながる事業として、今後もサポートして行く。</p>	<p>平成28年度8地域活動協議会が港区全11地域において防犯、高齢者や子どもの見守りなど、地域課題の解決に取り組みながら広報紙配布業務を履行している。</p> <p>平成29年度も、同様に8地域活動協議会が委託事業予定者となっている。</p> <p>・NPO法人南市岡地域活動区協議会 波除・弁天・南市岡 各地域 ・磯路地域活動協議会 池島・磯路 各地域 ・市岡地域活動協議会 市岡地域 ・田中地域活動協議会 田中地域 ・三先地域活動協議会 三先地域 ・八幡屋地域活動協議会 八幡屋地域 ・築港地域活動協議会 築港地域</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域課題やニーズに対応した活動の実施	自律的な地域活動にかかる支援 (1) 自主財源確保の取組支援	H28.8~	企業助成金、福祉ボランティア活動地域サロン活動支援等の助成金申請及び運営支援	<p>大阪ガス等企業の助成制度や区の実情に応じた大阪市福祉ボランティア活動助成事業の助成金を活用し、福祉(高齢者福祉、世代間交流)や地域人材育成等新たな事業を興そうとする地域に対して、そのメリット、デメリットを説明し、共に地域の事情を考慮した事業計画を考えた。</p> <p>企業助成申請目的としては市岡、南市岡両地活協共に、「いきいき百歳体操」用の椅子購入などがある。このいきいき百歳体操に関する他の助成については、まちづくりセンターが地域より得た情報(区社協善意銀行の払出しによるサロン活動支援助成)を港区役所と情報共有し、体操が毎週1回実施という頻度から考えても高齢者のコミュニティ拠点になり得る事から、各地活協の担当者へその旨説明しサロン活動支援助成申請の支援に至った。</p> <p>これら地域課題の解決策として、まちづくりセンターでは各助成金申請にあたり適切なアドバイスと申請サポートを行っている。</p> <p>また平成27・28年度大阪市ボランティア活動振興基金の助成事業を活用して、NPO法人南市岡地域活動協議会が実施している地域サロン(「健康サロン」「映画サロン」「食事サロン」「元気サロン」)の運営や、地域活動に関わりの薄かった住民が参加しやすいメニューの企画に対してアドバイスをこなっている。</p> <p>大阪市の中でも健診率の悪い港区において、NPO法人の企業会員にもなっている多根総合病院とも連携しながら健診率向上へ向けた健康サロン等は、地域の課題だけではなく港区全体の課題として取組まれている。</p> <p>12月からは「いきいき百歳体操」を毎週土曜日の午前と午後に実施し、港区歯科医師会の協力を得て「かみかみ百歳体操」、認知症予防の脳トレとして「しゃきしゃき百歳体操」の3柱で1セットと独自のメニューで運営にあたっている。</p> <p>まちづくりセンターでは企画段階から携わっているが、これらのノウハウを他の地域とも共有出来るように機会を設けて来た。</p> <p>また助成事業結果報告書等の作成にあたり、地域と話しをしながら支援を行っている。</p>	<p>地域: 市岡地域活動協議会 磯路地域活動協議会 八幡屋地域活動協議会 港晴地域活動協議会 三先地域活動協議会 田中地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会</p>
			H28.10.24	港区クラウドファンディングセミナー~実践編~	<p>「地域を元気にしたい、延いては港区を元気にしたい」との思いのある人や地活協等各種団体、地域や企業が集い、その思いやプランを自由に話し合い連携協働する事を目的に、港区役所とまちづくりセンターがクラウドファンディングサイトを運営するFAAVO大阪の協力を得て、「地域のために、こんな活動をしたい!」地域のCBにもつながる「新商品を開発して、まちを元気にしたい」などアイデアを実現するため、資金を幅広い方から募る方法等のセミナーを7月に実施した。「基礎編」としてインターネットを活用したソーシャルの力でプロジェクト資金を募るクラウドファンディングが、個人、団体、企業等を問わず、誰もがチャレンジ出来る事を学んで頂き、地域活性につながる商品の開発資金や地域課題解決のため資金集めの一環として、使えるツールである事を学んで頂いた。</p> <p>第二回目はその基礎編を基に、港区役所や区社協とまちづくりセンターで情報共有(会議)をしながら推進している「百歳体操」について、インストラクター養成資金のためのクラウドファンディングを想定し、地活協役員と地域の方がプレゼンを行った。また地域子育て層の方達が、「ママ防災」という未就学児を持つ母親を対象にした防災マニュアル制作資金調達のプレゼンをされ、会場の参加者からは実践するための具体的な質問が交わされている。それに関わる資料については数回のヒヤリングと打合せを行い共に資料の作成にあたり、地活協補助金以外の自主財源を考える機会と場を設ける事が出来た。</p> <p>港区では既に磯路地域と築港地域において2つのクラウドファンディング達成例があり、まちづくりセンターでは、今後も地域の自律を促す一助になるよう支援を続ける。</p>	<p>地域: NPO法人南市岡地域活動区協議会 市岡地域活動協議会 弁天地域活動協議会 田中地域活動協議会 八幡屋地域活動協議会 磯路地域活動協議会 三先地域活動協議会</p> <p>参加者: 22名 (市民活動団体も含む)</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域課題やニーズに対応した活動の実施	自律的な地域活動にかかる支援 (1) 自主財源確保の取組支援	H28.9.25 ~ 毎月第三日曜日	ふれあい広場「朝市」実施運営支援	<p>南市岡地域福祉活動計画にもある買い物弱者の課題解決や世代間交流を図るコミュニティ拠点、地域資源が有効に活用されコミュニティ・ビジネスにもつながる朝市を開催する為、地域と検討を重ね実施してきたふれあい広場「朝市」も2年が経過し、高齢者への戸別配達等見守りも兼ね、今では毎月行われる地域の催しとして定着している。</p> <p>朝市はふれあい広場の一環として定期的に催されるもので人手も必要となる事から、楽しく運営できるよう助言もし、地域の担い手を増やしながらか開催している。ふれあい広場では食事の提供もしており、現状世代間交流の場となっており、まちづくりセンターの支援による広報や活動の連携から、港区の他地域や阿倍野区、淀川区、住吉区、此花区や東成区、東大阪市など他市他区からの視察もあり、地域活動のネットワークの広がりも見られるようになった。また大阪市に於けるコミュニティ・ビジネスの先進事例として、市の「おおさかコミュニティ・ビジネス情報局」にも事例紹介として動画が掲載されている。当まちづくりセンターではその撮影協力や監修にあたった。</p> <p>ふれあい広場「朝市」の収益は小学校の一時避難所備蓄品購入に充て、28年2月時点で地域700名を受け入れられるだけの備蓄品を積み上げ、29年2月現在では簡易トイレ等の備品を、法人の企業会員でもある防災専門卸(有)リングと連携して今後の購入物の計画を行っている。また収益の一部を熊本地震の義援金に充てた。</p> <p>まちづくりセンターではこの取り組みを広く周知すべく、ふれあい広場「朝市」の趣旨や活動を、フェイスブックやホームページ等に掲載支援している。</p> <p>これらの事例は大阪市職員向け研修や、28年2月に開催された東大阪市役所・担い手養成講座、9月滋賀県草津市のコミュニティ・ビジネス講座2016、住吉区での地活協シンポジウムの講師としてNPO法人南市岡地域活動協議会理事長が登壇し発表された。身近に取り組みやすい事例として好評であった。</p> <p>まちづくりセンターでは、講座の資料作成準備と講演のサポートをするべく同行をし、その支援にあたった。</p> <p>このような取り組みを広く情報発信して来た事で、港区に於いては南市岡地域と共同で「朝市」を考える地域が出てきており、地域活動協議会同士の連携・協働によって新たな地域課題解決の切っ掛けが生まれる。その企画運営に至る過程に於いて、中間支援組織としてのまちづくりセンターが区役所と情報を共有しながら適切に支援をして行く。</p>	<p>地域: NPO法人南市岡地域活動協議会 三先地域活動協議会 協力: 港市岡郵便局 株式会社間口 有限会社リング</p>
		自律的な地域活動にかかる支援 (2) 人材育成・発掘の取組支援	H28.4 ~ H28.10 ~ H29.1.11 ~ H29.1.12 ~ H29.1.17 ~	「いきいき百歳体操」を活用した高齢者地域コミュニティ形成の支援	<p>介護保険法の改正に伴う要支援者の対応等の課題について、地域福祉活動に関わっている担当課や機関等と各々が持つ情報を共有する目的で、保健福祉センター長が定例の情報共有会議を提唱し、各地域の現状を把握しているまちづくりセンターにも参加の要請があった。</p> <p>その中で採り上げられた主な議案のひとつとして、「いきいき百歳体操」を活用した高齢者の健康増進がある。これは簡単な体操で筋力アップが見込まれ、要支援者予備軍の軽減を図る主たる目的があるが、常に地域コミュニティを念頭に活動する当センターとしては、毎週1回月4回に亘り定期的に集える場が創出出来ることは、地域にも行政にとっても大きな効果が得られるものと考えた。</p> <p>週1回のペースで実施される事から高齢者向けにあらゆる面の最新情報を提供し、その相談に応じる事が可能になる。</p> <p>受講者の中より次のインストラクターを養成し、地域でこの活動を継続しようとする事で、新たな担い手養成にもつながると考えている。事実今年度よりスタートした市岡地域では、現状受講者がスタッフとして活躍している。</p> <p>まちづくりセンターでは、百歳体操を開催するにあたってスタッフ不足を懸念する地域には、その事例を紹介し実際の現場に同行見学をして頂き、先行している地域の方々と意見交換が出来るように図ってきた。</p> <p>地域に新たなコミュニティ拠点が生まれ、「いきいき百歳体操」という共有の活動を通じて、今後各地域間の連携も望めるものと思われる事から、連携・協働のモデルケースとなるよう続けて支援し行く。</p> <p>今年度は暫定的に企業助成や区社協善意銀行の払出しによるサロン活動支援助成も含めサポートして来たが、次年度より地活協の事業化を目指す地域も多く、現在その打ち合わせが続いている。ただし地域事情を鑑みて、無理なく「いきいき百歳体操」が実施出来るように地域と相談しながら進めている。</p>	<p>地域: 市岡地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動区協議会 南市岡ネットワーク委員会 田中地域活動協議会 八幡屋ネットワーク委員会 港晴ネットワーク委員会</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域課題やニーズに対応した活動の実施		H28.12.8	「広報研修会」インターネットを活用した地域情報共有サイト	<p>まちづくりセンターでは、以前よりフェイスブックやホームページ等の地域活動の発信や共有について、研修会や個別指導を行うなど地域のレベルに応じて実施してきた。</p> <p>その中で地活協を運営するにあたり部会間、事業の主要団体等、また地域で活動する各種団体とも情報共有が図れるような工夫が必要と実感していた。</p> <p>そこで子育て層を含む若い世代から制約はあると思われるが高齢者までが活用可能なツールを検討し、スマートフォンやPCを使用した地域情報共有のサイト設置を広報研修会で提案した。勿論地域の負担感の軽減は考慮しなければならない事から、無料のアプリで比較的簡単に操作出来、パスワードの共有で多くの関係者がそれぞれの情報を書き込める「グーグルカレンダー」を探りあげた。</p> <p>カレンダー自体は曜日別昇目の月間カレンダーになっており、パスワードを有する地域の方が関係する行事とか情報、依頼や募集のタイトルを表記し、そのタイトルをチェックすると詳細内容が確認出来るもので、当センターで各関係者向けのマニュアルを、プロボノの協力を得ながら作成し配付している。</p> <p>地域によってはホームページなど、カレンダーを掲載するネット上の環境が整っていない場合がみられるが、このグーグルカレンダーは任意の組織名等で登録すると、その組織名サイト検索でネット上からカレンダー情報が閲覧(無料)出来る為、地域へのランニングコストは掛からない。</p> <p>受講した全ての地域にはその場で登録をして頂いたが、現在4地域、討ち地域のホームページで利用されている。</p> <p>今後もそれぞれの地域事情をに応じた情報ツールとなるよう支援して行く。</p>	<p>受講参加地域:</p> <ul style="list-style-type: none"> 弁天地域活動協議会 市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 港晴地域活動協議会 築港地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会
		自律的な地域活動にかかる支援(2) 人材育成・発掘の取組支援	H28.10～	地域コミュニティ食堂 地域の実情に応じた「こども食堂」 の考え方・取り組み支援	<p>昨今「こども食堂」の話題が地域からも聞こえるようになり、昨年10月に南市岡地域より大阪市基金の助成事業を活用して現在運営されている地域サロンで、地域のこども食堂を計画したい旨まちづくりセンターに相談があった。メディア等で取り上げられているこども食堂のイメージが、貧困層のこども救済に映る傾向がある為、地域担当者に確認を込めてヒヤリングを行った。</p> <p>結果各々意見の違いが見られたので、他区のこども食堂運営の例などに詳しい「桃谷こども食堂」尾関代表を伴い、実施予定の地域サロンで協議をした。</p> <p>その席で得られた結論として、子どもや父兄、地域の高齢者も集えるようなコミュニティ食堂の形態に落ち着き、無理のない体制が整い次第開始する運びとなった。勿論の事、食堂経営のノウハウも伝えており、実施にあたっては各々の分野で支援する。</p> <p>磯路地域のこども食堂計画に於いては、磯路の企業が母体となり設立された地域福祉活動を目的とした一般財団が港区でこども食堂の運営を企画し、地域の会館を利用したい旨区役所に相談があった。区役所からは磯路地活協がこの情報を承知しているか確認した上で、地域とその財団との協議の場を設けるよう依頼され、1月に当センターを含めた三者で協議した。</p> <p>結果、財団には運営委員会に入って頂き、地域と共に地域の実情に則したこども食堂を運営する事となり、現時点では当センターの勤めもあり、役員会、運営委員会で図りながら慎重に計画を進めている。また振興町会への根回しもお願している。</p> <p>田中地活協の会長より、事業化している食事サービスの対象者が固定化しており、出来るものなら対象者の裾野を広げたいとまちづくりセンターに相談があった。また会計役員からは、食事サービスに掛る一括補助金に占める割合が高く、負担軽減策を講じるよう要望もあった。</p> <p>ただ地活協形成まで市社協の事業として、ひとり@250円の補助が受けられ、数年ごとに備品購入助成もあった時期を経た食事サービス委員会の役員には、この地活協の一括補助金についてよく理解をされておらず、事業内容の変更には頑なに反対してきた経緯がある。</p> <p>当センターも地活協運営支援の立場として、適切に説明していない勉強不足も否めない事から、区社協担当者に地活協形成時の変更点等の確認をした上で、その担</p>	<p>地域: 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動区協議会</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域課題やニーズに対応した活動の実施			地域コミュニティ食堂 地域の実情に応じた「こども食堂」 の考え方・取り組み支援	当者同席の下、地域の主な役員と食事サービス委員会役員に向け、区役所担当課とまちづくりセンターが協議の場を設けた。社協サイドから、地活協形成時点で従来の補助が打ち切られている事。われわれがその補足説明を加え担当役員の誤解が解け、今まで委員会の高齢化で食事サービスの運営が年々厳しかった事など正直な思いも聞かれた。その場で委員会は解散となり、後日若手で再編成出来るよう地域で協力する旨確認された。これはこどもの孤食など地域が支える課題も含め、食事サービス+こども食堂の形態で次年度より事業化する事による。今後地活協らしい柔軟な発想で取り組まれるように支援して行く。	
		自律的な地域活動にかかる支援 (2) 人材育成・発掘の取組支援	H28.12～	2017 桜通りde桜まつり 実行委員会運営支援	港区磯路3丁目から弁天3丁目南北800mに至る桜通りの桜並木は、地域住民により植えられ管理されている桜並木で港区の桜の名所となり、港区の都市景観資源であり、国の緑陰道路プロジェクトにも指定されている。地域の理解と協力により育てる景観として、貴重な地域の景観資源となっている。 ただ磯路地域町内会有志が40年以上に亘って管理してきた桜並木(区画道路・街路樹)の維持管理費用が年々かさむとともに有志の高齢化が進み、有志の会だけでは維持しきれない状況にある。その為、まちづくりセンターが、町内会有志と磯路地域活動協議会役員との話し合いの場を設定調整した。(地活協に協力を求められた。)結果解決策の一環として桜通りの桜樹の現状を、地元住民にも周知すべく桜まつりを開催することとなり、一昨年桜通りがある地域の磯路地活協が、他の5地域活動協議会や各団体の協力を得ながら実施に至る支援をしたが、昨年の第二回桜通りde桜まつりからは「桜まつり実行委員会」を設け参画する地域活動協議会が連携・協働して事業に取り組んでいる。 今年度は桜まつり実行委員会を早めに立ち上げ、各地活協が桜まつりの周知期間を設けポスターやチラシ回覧等、振興町会の協力も得ながら取り組んでいる。併せて地活協が受託している「広報みなと」配布事業を活用して、チラシの折り込みも地域から提案された。 開催費用の一部はクラウドファンディングの達成により賄い、残りを桜並木に名入れの手作りぼんぼりを飾り寄付を募った。 この桜まつりは行政からの働き掛けではなく、大阪市の都市景観資源として広く愛されている「桜通り」を港区の財産として、自主的に各校下の地活協が主となり連携し、各種団体を巻き込みながら開催に至った。まちづくりセンターでは、歩行者天国申請等に関するサポートも行っている。 桜まつり後に行なわれた反省会において、協力参加の地活協より次年度の開催を要望する声があがり28年4月2日に催す運びとなった。まちづくりセンターでは「2016 桜通りde桜まつり」の実施にあたり、2月10日に参加を希望する各地域の地活協や各種団体等で行なわれる「桜まつりの実行委員会」の開催をサポートした。 また開催経費の問題について地活協事業として考えられる事や、補助金の対象となる分担金、寄付の募り方などを提言し支援した。結果28年度第二回目を迎えた桜まつりでは、区内11校下中7校下の地域活動協議会が「桜まつり実行委員会」を立ち上げまつりの運営を協議し、港区の課題として桜通りの啓発事業に連携して実施するに至った。 結果桜まつり自体多くの団体が協力実施することから、主催する各地活協では、色々な面で運営スタッフが必要となるため、各地活協が参画団体の若手に声を掛ける等、新たな担い手を発掘する事にもつながり、この機を地域活動における有益なものとするよう今後も支援して行く。	主催: 桜まつり実行委員会 市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 池島地域活動協議会 弁天地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会 協力: 港医療生協、他各種団体

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域課題やニーズに対応した活動の実施	自律的な地域活動にかかる支援 (2) 人材育成・発掘の取組支援	H28.10.24	港区クラウドファンディングセミナー ~実践編~ 【再掲】	<p>「地域を元気にしたい、延いては港区を元気にしたい」との思いのある人や地活協等各種団体、地域や企業が集い、その思いやプランを自由に話し合い連携協働する事を目的に、港区役所とまちづくりセンターがクラウドファンディングサイトを運営するFAAVO大阪の協力を得て、「地域のために、こんな活動をしたい!」地域のCBにもつながる「新商品を開発して、まちを元気にしたい」などアイデアを実現するため、資金を幅広い方から募る方法等のセミナーを7月に実施した。「基礎編」としてインターネットを活用したソーシャルの力でプロジェクト資金を募るクラウドファンディングが、個人、団体、企業等を問わず、誰もがチャレンジ出来る事を学んで頂き、地域活性につながる商品の開発資金や地域課題解決のため資金集めの一環として、使えるツールである事を学んで頂いた。</p> <p>第二回目はその基礎編を基に、港区役所や区社協とまちづくりセンターで情報共有(会議)をしながら推進している「百歳体操」について、インストラクター養成資金のためのクラウドファンディングを想定し、地活協役員と地域の方がプレゼンを行った。また地域子育て層の方達が、「ママ防災」という未就学児を持つ母親を対象にした防災マニュアル制作資金調達のプレゼンをされ、会場の参加者からは実践するための具体的な質問が交わされている。それに関わる資料については数回のヒヤリングと打合せを行い共に資料の作成にあたり、地活協補助金以外の自主財源を考える機会と場を設ける事が出来た。</p> <p>港区では既に磯路地域と築港地域において2つのクラウドファンディング達成例があり、まちづくりセンターでは、今後も地域の自律を促す一助になるよう支援を続ける。</p>	<p>地域:・NPO法人南市岡地域活動区協議会 市岡地域活動協議会 弁天地域活動協議会 田中地域活動協議会 八幡屋地域活動協議会 磯路地域活動協議会 三先地域活動協議会 参加者:22名 (市民活動団体も含む)</p>
		自律的な地域活動にかかる支援 (2) 人材育成・発掘の取組支援	通年	コミュニティビジネスを活用した自主財源確保の重要性の啓発及び具体的な取組の支援 【再掲】	<p>26年度より地域課題解決型事業として地域活動協議会も応募可能な「広報みなと」の配布事業も、28年度においては8地活協が港区全て11地域の配布事業を受託した。また29年度も同様に8地活協が、港区全て11地域の委託事業予定者として決定を受けている。</p> <p>この業務委託についてはコミュニティ・ビジネスのモデルケースと位置付けられ、他区からも港区に問い合わせが多くあり、まちづくりセンターが携って来た当事業の運営方法や収益事業となる税務面の対処等、港区役所担当課と連携してその説明にあたった。結果淀川区や東成区が同様の委託事業を公募し数地域の地域活動協議会が受託したが、港区のように11地域全てを地域活動協議会が事業者となり、地域活動の有効な財源として周知されていないようである。</p> <p>昨年11月の29年度同事業公募型プロポーザル募集開始に伴い、事業参加予定の8地域・地活協から企画提案書及び29年1月のプレゼンテーションに向けまちづくりセンターへ相談が寄せられた。</p> <p>当センターではこの配布事業が既に3年に渡り実施されていることから、再度「地域課題解決型配布事業」の趣旨を各申請地活協主要担当者等へ説明し、個々の地域事情に応じた検討の機会を設けた。配布業務の反省点や企画提案が現状の地域課題に即しているかなど地域と共に検証し、地域の声を反映したより適切な業務企画提案書の作成を支援している。</p> <p>また28年度8地活協受託に伴い、これら業務に付随する全戸配布の実績報告の作成、地域課題解決の取組み(高齢者や子どもの見守り、地域情報の発信、まちの問題の把握など)等について、港区との契約が履行されるよう支援を行っている。</p> <p>配布クレームについても、区役所担当課と連携して適切に対処している(担当地活協への指導等)</p> <p>地域防犯や高齢者及び子どもの見守り等地域課題の一端を、広報紙を配布しながら解決する手法で自主財源確保にもつながる事業として、今後もサポートして行く。</p>	<p>平成28年度8地域活動協議会が港区全11地域において防犯、高齢者や子どもの見守りなど、地域課題の解決に取り組みながら広報紙配布業務を履行している。</p> <p>平成29年度も、同様に8地域活動協議会が委託事業予定者となっている。</p> <p>・NPO法人南市岡地域活動区協議会 波除・弁天・南市岡 各地域 ・磯路地域活動協議会 池島・磯路 各地域 ・市岡地域活動協議会 市岡地域 ・田中地域活動協議会 田中地域 ・三先地域活動協議会 三先地域 ・八幡屋地域活動協議会 八幡屋地域 ・築港地域活動協議会 築港地域</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域課題やニーズに対応した活動の実施	自律的な地域活動にかかる支援 (2) 人材育成・発掘の取組支援	H28.9.25 ~ 毎月第三日曜日	ふれあい広場「朝市」実施運営支援 【再掲】	<p>南市岡地域福祉活動計画にもある買い物弱者の課題解決や世代間交流を図るコミュニティ拠点、地域資源が有効に活用されコミュニティ・ビジネスにもつながる朝市を開催する為、地域と検討を重ね実施してきたふれあい広場「朝市」も2年が経過し、今では毎月行われる地域の催しとして定着している。</p> <p>朝市はふれあい広場の一環として定期的に催されるもので人手も必要となる事から、楽しく運営できるよう助言もし、地域の担い手を増やしながら開催している。ふれあい広場では食事の提供もしており、現状世代間交流の場となっており、まちづくりセンターの支援による広報や活動の連携から、港区の他地域や阿倍野区、淀川区、住吉区、此花区や東成区、東大阪市など他市他区からの視察もあり、地域活動のネットワークの広がりも見られるようになった。また大阪市に於けるコミュニティ・ビジネスの先進事例として、市の「おおさかコミュニティ・ビジネス情報局」にも事例紹介として動画が掲載されている。当まちづくりセンターではその撮影協力や監修にあたった。ふれあい広場「朝市」の収益は小学校の一時避難所備蓄品購入に充て、28年2月時点で地域700名を受け入れられるだけの備蓄品を積み上げ、29年2月現在では簡易トイレ等の備品を、法人の企業会員でもある防災専門卸(有)リングと連携して今後の購入物の計画を行っている。また収益の一部を熊本地震の義援金に充てた。まちづくりセンターではこの取り組みを広く周知すべく、ふれあい広場「朝市」の趣旨や活動を、フェイスブックやホームページ等に掲載支援している。</p> <p>これらの事例は大阪市職員向け研修や、28年2月に開催された東大阪役所・担い手養成講座、9月滋賀県草津市のコミュニティ・ビジネス講座2016、住吉区での地活協シンポジウムの講師としてNPO法人南市岡地域活動協議会理事長が登壇し発表された。身近に取り組みやすい事例として好評であった。</p> <p>まちづくりセンターでは、講座の資料作成準備と講演のサポートをするべく同行をし、その支援にあたった。</p> <p>このような取り組みを広く情報発信して来た事で、港区に於いては南市岡地域と共同で「朝市」を考える地域が出てきており、地域活動協議会同士の連携・協働によって新たな地域課題解決の切っ掛けが生まれる。その企画運営に至る過程に於いて、中間支援組織としてのまちづくりセンターが区役所と情報を共有しながら適切に支援をして行く。</p>	<p>地域:NPO法人南市岡地域活動協議会 三先地域活動協議会 協力:港市岡郵便局 株式会社間口 有限会社リング</p>
	法人格の取得	法人の運営	H28.8 ~ H29.3	NPO法人の運営支援 法人格取得の為の相談等	<p>南市岡地域活動協議会では平成26年11月19日NPO法人格を取得して三年目となり、法人としての事業運営も軌道に乗って来た。</p> <p>行政よりの委託事業としては地域課題解決型「広報みなと」配布事業、「港区広報板管理業務」、「児童いきいき放課後事業」、収益事業「ふれあい広場・朝市」、大阪市福祉ボランティア活動助成事業の助成金で地域サロンの運営するなど、市の一括補助金事業以外にも地域を拠点に広く連携を図りながら活動している。</p> <p>まちづくりセンターではこれらNPO法人の運営にあたり適切に支援を続けているが、他の地域からも法人格取得について相談があり取得に対して、明確な目的が無いケースでは、地域担当者の理解を求めながら地域の実情に応じた活動を勧めている。勿論法人格取得に向けての説明は随時行っているが、その法人格はNPO法人に限定するものではない。</p>	<p>地域:NPO法人南市岡地域活動協議会 港晴地域活動協議会 弁天地域活動協議会</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
つながりの拡充						
	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進		通年	地域サロンの実施支援	平成27・28年度大阪市ボランティア活動振興基金の助成事業を活用して、NPO法人南市岡地域活動協議会が実施している地域サロン(「健康サロン」「映画サロン」「食事サロン」「元気サロン」)の運営や、地域活動に関わりの薄かった住民が参加しやすいメニューの企画に対してアドバイスを行なっている。 大阪市の中でも健診率の悪い港区において、NPO法人の企業会員にもなっている多根総合病院とも連携しながら健診率向上へ向けた健康サロン等は、地域の課題だけではなく港区全体の課題として取組まれている。 12月からは「いきいき百歳体操」を毎週土曜日の午前と午後に実施し、港区歯科医師会の協力を得て「かみかみ百歳体操」、認知症予防の脳トレとして「しゃきしゃき百歳体操」の3柱で1セットと独自のメニューで運営にあたっている。 まちづくりセンターでは企画段階から携わっているが、これらのノウハウを他の地域とも共有出来るように機会を設けて来た。 また助成事業結果報告書等の作成にあたり、地域と話しをしながら支援を行っている。	地域:NPO法人南市岡地域活動協議会
		豊かなコミュニティの形成にかかる支援	H28.4～ H28.10～ H29.1.11～ H29.1.12～ H29.1.17～	「いきいき百歳体操」を活用した高齢者地域コミュニティ形成の支援 【再掲】	介護保険法の改正に伴う要支援者の対応等の課題について、地域福祉活動に関わっている担当課や機関等と各々が持つ情報を共有する目的で、保健福祉センター長が定例の情報共有会議を提唱し、各地域の現状を把握しているまちづくりセンターにも参加の要請があった。 その中で採り上げられた主な議案のひとつとして、「いきいき百歳体操」を活用した高齢者の健康増進がある。これは簡単な体操で筋力アップが見込まれ、要支援者予備軍の軽減を図る主たる目的があるが、常に地域コミュニティを念頭に活動する当センターとしては、毎週1回月4回に亘り定期的に集える場が創出出来ることは、地域にも行政にとっても大きな効果が得られるものと考えた。 週1回のペースで実施される事から高齢者向けにあらゆる面の最新情報を提供し、その相談に応じる事が可能になる。 受講者の中より次のインストラクターを養成し、地域でこの活動を継続しようとする事で、新たな担い手養成にもつながると考えている。事実今年度よりスタートした市岡地域では、現状受講者がスタッフとして活躍している。 まちづくりセンターでは、百歳体操を開催するにあたってスタッフ不足を懸念する地域には、その実例を紹介し実際の現場に同行見学をして頂き、先行している地域の方々と意見交換が出来るように図ってきた。 地域に新たなコミュニティ拠点が生まれ、「いきいき百歳体操」という共有の活動を通じて、今後各地域間の連携も望めるものと思われる事から、連携・協働のモデルケースとなるよう続けて支援していく。 今年度は暫定的に企業助成や区社協善意銀行の払出しによるサロン活動支援助成も含めサポートして来たが、次年度より地活協の事業化を目指す地域も多く、現在その打ち合わせが続いている。ただし地域事情を鑑みて、無理なく「いきいき百歳体操」が実施出来るように地域と相談しながら進めている。	地域:市岡地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動区協議会 南市岡ネットワーク委員会 田中地域活動協議会 八幡屋ネットワーク委員会 港晴ネットワーク委員会

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
<p>イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している</p>	<p>これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進</p>	<p>豊かなコミュニティの形成にかかる支援</p>	<p>H28.10～</p>	<p>地域コミュニティ食堂 地域の実情に応じた「こども食堂」 の考え方・取り組み支援 【再掲】</p>	<p>昨今「こども食堂」の話題が地域からも聞こえるようになり、昨年10月に南市岡地域より大阪市基金の助成事業を活用して現在運営されている地域サロンで、地域のこども食堂を計画したい旨まちづくりセンターに相談があった。メディア等で採り上げられているこども食堂のイメージが、貧困層のこども救済に映る傾向がある為、地域担当者に確認を込めてヒヤリングを行った。 結果各々意見の違いが見られたので、他区のこども食堂運営の例などに詳しい「桃谷こども食堂」尾関代表を伴い、実施予定の地域サロンで協議をした。 その席で得られた結論として、子どもや父兄、地域の高齢者も集えるようなコミュニティ食堂の形態に落ち着き、無理のない体制が整い次第開始する運びとなった。勿論の事、食堂経営のノウハウも伝えており、実施にあたっては各々の分野で支援する。 磯路地域のこども食堂計画に於いては、磯路の企業が母体となり設立された地域福祉活動を目的とした一般財団が港区でこども食堂の運営を企画し、地域の会館を利用したい旨区役所に相談があった。区役所からは磯路地活協がこの情報を承知しているか確認した上で、地域とその財団との協議の場を設けるよう依頼され、1月に当センターを含めた三者で協議した。 結果、財団には運営委員会に入って頂き、地域と共に地域の实情に則したこども食堂を運営する事となり、現時点では当センターの勤めもあり、役員会、運営委員会で図りながら慎重に計画を進めている。また振興町会への根回しもお願いしている。 田中地活協の会長より、事業化している食事サービスの対象者が固定化しており、出来るものなら対象者の裾野を広げたいとまちづくりセンターに相談があった。また会計役員からは、食事サービスに掛る一括補助金に占める割合が高く、負担軽減策を講じるよう要望もあった。 ただ地活協形成まで市社協の事業として、ひとり@250円の補助が受けられ、数年ごとに備品購入助成もあった時期を経た食事サービス委員会の役員には、この地活協の一括補助金についてよく理解をされておらず、事業内容の変更には頑なに反対してきた経緯がある。 当センターも地活協運営支援の立場として、適切に説明していない勉強不足も否めない事から、区社協担当者に地活協形成時の変更点等の確認をした上で、その担当者同席の下、地域の主な役員と食事サービス委員会役員に向け、区役所担当課とまちづくりセンターが協議の場を設けた。社協サイドから、地活協形成時点で従来の補助が打ち切られている事。われわれがその補足説明を加え担当役員の誤解が解け、今まで委員会の高齢化で食事サービスの運営が年々厳しかった事など正直な思いも聞かれた。その場で委員会は解散となり、後日若手で再編成出来るよう地域で協力する旨確認された。これはこどもの孤食など地域が支える課題も含め、食事サービス+こども食堂の形態で次年度より事業化する事による。 今後地活協らしい柔軟な発想で取り組まれるように支援して行く。</p>	<p>地域: 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動区協議会</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	豊かなコミュニティの形成にかかる支援	H28.9.25 ~ 毎月第三日曜日	ふれあい広場「朝市」実施運営支援【再掲】	<p>南市岡地域福祉活動計画にもある買い物弱者の課題解決や世代間交流を図るコミュニティ拠点、地域資源が有効に活用されコミュニティ・ビジネスにもつながる朝市を開催する為、地域と検討を重ね実施してきたふれあい広場「朝市」も2年が経過し、今では毎月行われる地域の催しとして定着している。</p> <p>朝市はふれあい広場の一環として定期的に催されるもので人手も必要となる事から、楽しく運営できるよう助言もし、地域の担い手を増やしながら開催している。ふれあい広場では食事の提供もしており、現状世代間交流の場となっており、まちづくりセンターの支援による広報や活動の連携から、港区の他地域や阿倍野区、淀川区、住吉区、此花区や東成区、東大阪市など他市他区からの視察もあり、地域活動のネットワークの広がりも見られるようになった。また大阪市に於けるコミュニティ・ビジネスの先進事例として、市の「おおさかコミュニティ・ビジネス情報局」にも事例紹介として動画が掲載されている。当まちづくりセンターではその撮影協力や監修にあたった。ふれあい広場「朝市」の収益は小学校の一時避難所備蓄品購入に充て、28年2月時点で地域700名を受け入れられるだけの備蓄品を積み上げ、29年2月現在では簡易トイレ等の備品を、法人の企業会員でもある防災専門卸(有)リングと連携して今後の購入物の計画を行っている。また収益の一部を熊本地震の義援金に充てた。まちづくりセンターではこの取り組みを広く周知すべく、ふれあい広場「朝市」の趣旨や活動を、フェイスブックやホームページ等に掲載支援している。</p> <p>これらの事例は大阪市職員向け研修や、28年2月に開催された東大阪役所・担い手養成講座、9月滋賀県草津市のコミュニティ・ビジネス講座2016、住吉区での地活協シンポジウムの講師としてNPO法人南市岡地域活動協議会理事長が登壇し発表された。身近に取り組みやすい事例として好評であった。</p> <p>まちづくりセンターでは、講座の資料作成準備と講演のサポートをするべく同行をし、その支援にあたった。</p> <p>このような取り組みを広く情報発信して来た事で、港区に於いては南市岡地域と共同で「朝市」を考える地域が出てきており、地域活動協議会同士の連携・協働によって新たな地域課題解決の切っ掛けが生まれる。その企画運営に至る過程に於いて、中間支援組織としてのまちづくりセンターが区役所と情報を共有しながら適切に支援をして行く。</p>	<p>地域: NPO法人南市岡地域活動協議会 三先地域活動協議会 協力: 港市岡郵便局 株式会社間口 有限会社リング</p>
		新たな担い手の拡大	H28.12 ~	2017 桜通りde桜まつり 実行委員会運営支援【再掲】	<p>港区磯路3丁目から弁天3丁目南北800mに至る桜通りの桜並木は、地域住民により植えられ管理されている桜並木で港区の桜の名所となり、港区の都市景観資源であり、国の緑陰道路プロジェクトにも指定されている。地域の理解と協力により育てる景観として、貴重な地域の景観資源となっている。</p> <p>ただ磯路地域町内会有志が40年以上に亘って管理してきた桜並木(区画道路・街路樹)の維持管理費用が年々かさむとともに有志の高齢化が進み、有志の会だけでは維持しきれない状況にある。その為、まちづくりセンターが、町内会有志と磯路地域活動協議会役員との話し合いの場を設定調整した。(地活協に協力を求められた。)結果解決策の一環として桜通りの桜樹の現状を、地元住民にも周知すべく桜まつりを開催することとなり、一昨年桜通りがある地域の磯路地活協が、他の5地域活動協議会や各団体の協力を得ながら実施に至る支援をしたが、昨年の第二回桜通りde桜まつりからは「桜まつり実行委員会」を設け参画する地域活動協議会が連携・協働して事業に取り組んでいる。</p> <p>今年度は桜まつり実行委員会を早めに立ち上げ、各地活協が桜まつりの周知期間を設けポスターやチラシ回覧等、振興町会の協力も得ながら取り組んでいる。併せて地活協が受託している「広報みなと」配布事業を活用して、チラシの折り込みも地域から提案された。</p> <p>開催費用の一部はクラウドファンディングの達成により賄い、残りを桜並木に名入れの手作りぼんぼりを飾り寄付を募った。</p> <p>この桜まつりは行政からの働き掛けではなく、大阪市の都市景観資源として広く愛されている「桜通り」を港区の財産として、自主的に各校下の地活協が主となり連携し、</p>	<p>主催: 桜まつり実行委員会 市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 池島地域活動協議会 弁天地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会 協力: 港医療生協、他各種団体</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	新たな担い手の拡大		2017 桜通りde桜まつり 実行委員会運営支援 【再掲】	各種団体を巻き込みながら開催に至った。まちづくりセンターでは、歩行者天国申請等に関するサポートも行っている。桜まつり後に行なわれた反省会において、協力参加の地活協より次年度の開催を要望する声があがり28年4月2日に催す運びとなった。まちづくりセンターでは「2016 桜通りde桜まつり」の実施にあたり、2月10日に参加を希望する各地域の地活協や各種団体等で行なわれる「桜まつりの実行委員会」の開催をサポートした。 また開催経費の問題について地活協事業として考えられる事や、補助金の対象となる分担金、寄付の募り方などを提言し支援した。結果28年度第二回目を迎えた桜まつりでは、区内11校下中7校下の地域活動協議会が「桜まつり実行委員会」を立ち上げまつりの運営を協議し、港区の課題として桜通りの啓発事業に連携して実施するに至った。 結果桜まつり自体多くの団体が協力実施することから、主催する各地活協では、色々な面で運営スタッフが必要となるため、各地活協が参画団体の若手に声を掛ける等、新たな担い手を発掘する事にもつながり、この機を地域活動における有益なものとするよう今後も支援して行く。	
			通年	児童いきいき放課後事業	NPO法人南市岡地域活動協議会が受託して2年目となり、児童いきいき放課後事業のメニュー内容も地域役員の会議を経て決められるが、まちづくりセンターもアドバイザー的なかたちで参画し、情報発信等の支援をしている。 NPO法人南市岡地域活動協議会ホームページに掲載するためのページ作成のサポートも行っているが、それらのいきいきの取組み内容をまちづくりセンターのフェイスブックや、大阪市コミュニティ協会のホームページにも掲載支援している。 また夏休み等の特別講習については事前に地域担当者と協議し、NPO法人定款の目的に沿った内容で、児童の健全育成に貢献出来るよう支援した。	地域:NPO法人南市岡地域活動協議会
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)(地域活動協議会内部)	活動主体との連携・協働	H28.12.8	「広報研修会」 インターネットを活用した 地域情報共有サイト 【再掲】	まちづくりセンターでは、以前よりフェイスブックやホームページ等の地域活動の発信や共有について、研修会や個別指導を行うなど地域のレベルに応じて実施してきた。 その中で地活協を運営するにあたり部会間、事業の主要団体等、また地域で活動する各種団体とも情報共有が図れるような工夫が必要と実感していた。 そこで子育て層を含む若い世代から制約はあると思われるが高齢者までが活用可能なツールを検討し、スマートフォンやPCを使用した地域情報共有のサイト設置を広報研修会で提案した。勿論地域の負担感の軽減は考慮しなければならない事から、無料のアプリで比較的簡単に操作出来、パスワードの共有で多くの関係者がそれぞれの情報を書き込める「グーグルカレンダー」を採りあげた。 カレンダー自体は曜日別昇目の月間カレンダーになっており、パスワードを有する地域の方が関係する行事とか情報、依頼や募集のタイトルを表記し、そのタイトルをチェックすると詳細内容が確認出来るもので、当センターで各関係者向けのマニュアルを、プロボノの協力を得ながら作成し配付している。 地域によってはホームページなど、カレンダーを掲載するネット上の環境が整っていない場合がみられるが、このグーグルカレンダーは任意の組織名等で登録すると、その組織名サイト検索で ネット上からカレンダー情報が閲覧(無料)出来る為、地域へのランニングコストは掛からない。 受講した全ての地域にはその場で登録をして頂いたが、現在4地域、討ち地域のホームページで利用されている。 今後もそれぞれの地域事情をに応じた情報ツールとなるよう支援して行く。	受講参加地域: 弁天地域活動協議会 市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 港晴地域活動協議会 築港地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】		通年	地域活動協議会の役員会 運営委員会等 定期開催の支援	八幡屋地域内の地域活動情報を各運営委員が共有する目的の為に、港区まちづくりセンターが助言支援をし、八幡屋地域活動協議会の運営委員会が2ヶ月に1度、奇数月に開催できる事となった。今年度は町会長にも積極的に地活協行事に参画を呼び掛けるなど、地域一体で物事に当たろうとする動きが見られる。同様に三先地活協に於いても地域活動や課題を共有する為、毎月第一水曜日に役員会を開催して頂き、運営委員会は大きな行事の前に開催する運びとなった。また磯路地域では、よりフットワークの軽い運営を目指し運営委員を半減以下にした事から、地活協参画団体の声が集約し辛くなっていた。まちづくりセンターでは地域と協議の上、全ての参画する団体の代表が集い、地域の課題や活動について協議し対処する「各種団体連絡会」を設け運営委員会に反映出来る定例会(毎月第一金曜日)とした。これらの運営については地域事情によるもの大きい、他地域の参考になると思われる事から、適時その状況の説明を行っている。	地域: 八幡屋地域活動協議会 三先地域活動協議会 磯路地域活動協議会
			通年	平成28年度 港区避難所開設訓練及び地域防災学習会の支援	港区が取組む平成28年度地域防災計画と、避難所開設訓練及び防災リーダー研修において、各地域で開催される地域防災学習会についての周知チラシの作成や打合せ等の支援を行い、各訓練や学習会にも参加している。	対象: 港区全11地域・地域活動協議会
	地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】	活動主体との連携・協働	H28.10.24	港区クラウドファンディングセミナー ～実践編～ 【再掲】	「地域を元気にしたい、延いては港区を元気にしたい」との思いのある人や地活協等各種団体、地域や企業が集い、その思いやプランを自由に話し合い連携協働する事を目的に、港区役所とまちづくりセンターがクラウドファンディングサイトを運営するFAAVO大阪の協力を得て、「地域のために、こんな活動をしたい!」地域のCBにもつながる「新商品を開発して、まちを元気にしたい」などアイデアを実現するため、資金を幅広い方から募る方法等のセミナーを7月に実施した。「基礎編」としてインターネットを活用したソーシャルの力でプロジェクト資金を募るクラウドファンディングが、個人、団体、企業等を問わず、誰もがチャレンジ出来る事を学んで頂き、地域活性につながる商品の開発資金や地域課題解決のため資金集めの一環として、使えるツールである事を学んで頂いた。第二回目はその基礎編を基に、港区役所や区社協とまちづくりセンターで情報共有(会議)をしながら推進している「百歳体操」について、インストラクター養成資金のためのクラウドファンディングを想定し、地活協役員と地域の方がプレゼンを行った。また地域子育て層の方達が、「ママ防災」という未就学児を持つ母親を対象にした防災マニュアル制作資金調達のプレゼンをされ、会場の参加者からは実践するための具体的な質問が交わされている。それに関わる資料については数回のヒヤリングと打合せを行い共に資料の作成にあたり、地活協補助金以外の自主財源を考える機会と場を設ける事が出来た。港区では既に磯路地域と築港地域において2つのクラウドファンディング達成例があり、まちづくりセンターでは、今後も地域の自律を促す一助になるよう支援を続ける。	地域: ・NPO法人南市岡地域活動区協議会 市岡地域活動協議会 弁天地域活動協議会 田中地域活動協議会 八幡屋地域活動協議会 磯路地域活動協議会 三先地域活動協議会 参加者: 22名 (市民活動団体も含む)
			H28.9.8 H28.11.15 H28.11.17 H28.11.17	他市・他区に於ける 地活協セミナーの実施支援	NPO法人南市岡地域活動協議会が行っているふれあい広場「朝市」を中心としたコミュニティビジネス等の取り組みについて、(公財)草津市コミュニティ事業団より9/8日に実施されるCBセミナーの講師の依頼があり、草津市役所の担当者とセミナーの打合せを地域と共に行った。地域と発表内容の検討を重ね、発表資料等の作成をサポートしている。まちづくりセンターでは講演当日アドバイザーとして同行し、地域の中間支援としての立場で意見を求められ、パネルディスカッションにパネラーで参加をした。後日コミュニティビジネス講座の内容をまとめた草津市制作ブックレットの監修も、当センターで地域に確認をしながら他地域の参考資料になるよう担当した。また11月には住吉区での「地活協シンポジウム」、淀川区「よどまち未来セッション」の講師としてNPO法人南市岡地域活動協議会理事長が登壇し発表さ、同様に地域との打ち合わせを重ね資料の作成をサポートしている。同時期に阿倍野区では地活協の「青少年・地域福祉分科会」が開催され、磯路地域活動協議会の1年に亘る世代間交流をテーマに講演をした。このように港区の事例を他区等とも共有して行く事で、広く地域間の連携につながるよう今後も支援して行く。	地域: NPO法人南市岡地域活動協議会 磯路地域活動協議会

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	組織運営					
	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	開かれた組織運営	随時	役員会・運営委員会の開催支援	<p>総会・運営委員会の開催にあたって、事前に協議した上で地域の必要に応じた資料作成の支援や進め方についてのアドバイスを行い、適正な会議運営を支援している。結果、定期的に役員会を開催する地域、地活協の参画団体が毎月連絡会を開き、地域の行事や課題を協議して地活協にあげる地域も見られるようになった。今年度は役員の改選期でもあり、今後の地活協をより活動的にする為の役員体制の見直しや、役員定年制等の規約変更について相談も寄せられ、まちづくりセンターが把握する地域事情を考慮しながら運営上の適切なアドバイスを行っている。また次にあげる「地域フォーラム」などでも説明を重ねた地活協という協議体の在り方、考え方の理解が深まった地域などは、地域の実情に則した事業の見直し、役員会に於ける議案化、運営委員会での説明承認の過程を経て、臨機応変に地域課題に対処する術を身に付けてきた。機会を設け積極的に地域と対話を重ねる事で、地域にとって良い方向に導いているものと実感している。</p>	対象:全11地域
			H28.8.4～	地域フォーラム ～いまさら聞けない地活協～ 開催実施支援	<p>地域活動協議会が始動して4年目となり、区役所と連携しながら開かれた組織運営の支援を行って来た。だが依然として地域においては地活協の基本的な理解度が低いと思われる地域もあり、再度基本的な組織(協議体)の仕組みや考え方、一括補助金に関わる運営の仕方等への理解を図る機会として「いまさら聞けない地活協」をテーマに、港区全地域に向けて地域フォーラムの開催を行っている。各地域によって地域事情が異なる事から、まちづくりセンターでは事前にヒヤリングを行い、各地活協フォーラム対象者へ向け補う点など地域の意向を酌み、有益な機会となるように地域と話しを詰め実施している。8/4日には市岡地域会館において、地域活動協議会運営委員と地域振興町会長を対象とした地活協フォーラムを開催。その結果を受けて区役所担当課と資料等の再度検討を行い、以後の地域への資料とした。8/26日に弁天地域、9/25日は田中地域、10/15日磯路地域、11/18日八幡屋地域、12/12日港晴地域、同じく日には池島地域、2/13日に波除地域で実施し、各地活協と協議をしながら地域の意向に沿ったフォーラムの開催を図っている。フォーラムに於いて地域からの質問に対する持ち帰り返答(正確なデータ等の資料確認の為)をするケースが見られたが再度答えを持ってフォーラムに臨むなど、区役所と連携しながら丁寧に対応しているし、もうひと押しするとより効果が得られそうな地域についても対処する。地域にとって区長をはじめ区担当課や当センターと改めて地活協を考える機会を設けた事は、今後の地域活動に於いて一定の効果が得られたと感じている。</p>	対象:全11地域
			通年	地域活動協議会の役員会 運営委員会等 定期開催の支援 【再掲】	<p>八幡屋地域内の地域活動情報を各運営委員が共有する目的の為に、港区まちづくりセンターが助言支援をし、八幡屋地域活動協議会の運営委員会が2ヶ月に1度、奇数月に開催できる事となった。今年度は町会長にも積極的に地活協行事に参画を呼び掛けるなど、地域一体で物事に当たろうとする動きが見られる。同様に三先地活協に於いても地域活動や課題を共有する為、毎月第一水曜日に役員会を開催して頂き、運営委員会は大きな行事の前に開催する運びとなった。また磯路地域では、よりフットワークの軽い運営を目指し運営委員を半減以下にした事から、地活協参画団体の声が集約し辛くなっていた。まちづくりセンターでは地域と協議の上、全ての参画する団体の代表が集い、地域の課題や活動について協議し対処する「各種団体連絡会」を設け運営委員会に反映出来る定例会(毎月第一金曜日)とした。これらの運営については地域事情によるものが大きい、他地域の参考になると思われる事から、適時その状況の説明を行っている。</p>	地域:八幡屋地域活動協議会 三先地域活動協議会 磯路地域活動協議会
会計事務の適正な執行	会計の透明性	H29.1.25	平成29年度地域活動協議会補助金に係る説明会	<p>地域活動協議会一括補助金に関する事業計画や決算処理、区で新たに整理された取り組み等、地域活動事業及び地活協運営において重要な説明会である事から、まちづくりセンターでは各地域の主だった方や会計担当者にその旨説明し、全ての地域の参加につなげた。会計説明会では、補助金に係る資料の整理や事業報告、決算資料の作成について説明。その後疑問点等について、地域より相談を受けている。</p>	港区全地域より、参加者数70名	

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者: 一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
	多様な媒体による広報活動	情報公開	随時	まちづくりセンターによる地域活動の広報支援	地域活動協議会の情報発信を支援するために地域活動協議会の広報紙コーナーを設置(区役所内2ヶ所、区民センター、近隣センター)し、地域の広報紙を市民等が入手出来るようにしている。その地域広報紙データを港区の公式ホームページに掲載依頼し、常に地域の新しい情報が手に出来るようサポートを行っている。まちづくりセンターのフェイスブックで、各地域活動協議会の会議や事業、地域行事等を紹介。また、地域活動協議会の月ごとの行事予定を大阪市コミュニティ協会港区支部協議会のホームページで発信している。	対象:全11地域
随時			地域活動協議会の広報活動の支援	前年度に引き続き、広報紙の発行やフェイスブック等のインターネットを活用した広報の支援をしている。現在、広報紙は全11地域で発行(うち2地域は毎月発行)されており、インターネットを活用した広報は7地域で実施されている。4月には新たに築港地域活動協議会でホームページを立ち上げ、ウェブ環境の構築からサイト設計に至るサポートをした。現状6地域において地活協公式ホームページが運営されている。特に築港と磯路地域活動協議会に於いては、11月にまちづくりセンターが実施した広報研修会の無料アプリ(구글カレンダー)を活用して、地域の情報共有を図っている。	対象:全11地域	
H28.8~H29.2			広報みなと「地域活動協議会便り」原稿作成サポート	昨年度より港区の広報紙において、各校下地域活動協議会の活動等を毎月校下ごとに掲載したが、今年度からはまちづくりセンターの企画提案で、地域活動を頑張っている個人にスポットをあてた「地域活動協議会便り」原稿等の作成サポートを行っている。掲載された個々の地域活動に対する考え方がよくわかり、地域の方たちにも好評であった。	対象:全11地域 内7地域(9月号~3月号)実施	
区独自取組						
(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの。設定している具体の取組を右欄に記載)						

具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照